

大分大学医学部
病院立体駐車場及びアメニティ施設整備
に関するサウンディング型市場調査

(補足資料)

令和5年9月

目 次

1. 検討の背景、趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・	2頁
2. 整備の目的・ポイント・・・・・・・・・・・・	2頁
3. 整備するキャンパスの概況・・・・・・・・・・	3頁
4. 整備用地の設定・・・・・・・・・・・・・・・・	5頁
5. 必要とする機能の検討・・・・・・・・・・・・	6頁
6. 整備対象キャンパスの概要・・・・・・・・・・	8頁
7. スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8頁

1. 検討の背景、趣旨

大分大学医学部病院立体駐車場及びアメニティ施設の整備計画

現在、大分大学狭間キャンパス（以下「狭間キャンパス」という。）では、大分大学医学部附属病院（以下「附属病院」という。）に来院する外来患者等による接道道路の交通渋滞の解消、外来患者の高齢化を見据えた患者用駐車場及び乗降場の整備に十分な対応が出来ていない現状である。

また、患者のニーズに適合したアメニティ施設、大学関係者（学生含む）の福利厚生の実、地域連携や教育研究の推進、施設の良い保全状態の維持、維持管理経費の長期的な節減の観点も含めたアメニティ施設の整備も十分な対応が出来ていない現状である。

よって、病院立体駐車場及びアメニティ施設の整備を図ることで、接道道路の渋滞緩和、患者用駐車場の利便性の向上、患者のニーズ、大学関係者（学生含む）へ対応した整備事業を計画している。

2. 整備の目的・ポイント

民間資力を活用し、患者を始めとした病院利用者へのサービス向上、教職員の福利厚生の実、地域連携や教育研究の推進に資する施設整備とともに、施設の良い維持保全並びに維持管理経費の長期的な節減を目的とする。

【整備における6つのポイント】

項目	概要
交通渋滞の解消	○外来患者によるキャンパス近隣の交通渋滞の解消 ・ 駐車可能台数の改善と良好な駐車場アクセス
将来を見据えた患者アメニティの改善	○高齢化の進行と疾病構造の変化を見越したアメニティの提供並びに医療安全の確保 ・ 最適な施設の配置と動線 ・ 患者のニーズに適合したアメニティ施設等の整備 ・ バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進
教職員等の福利厚生の実	○医療従事者を始めとした教職員の勤務環境の改善 ・ 教職員・学生のニーズに適合したアメニティ施設等の整備 ・ 低学年生の入構許可、新学科の教職員・学生の駐車場確保
財源の確保 経費の削減	○設計・建設・運営管理の一括契約による経費削減 ・ 施設整備の企画段階から建設後の管理までを包括的に契約することによりコストを削減 ・ 所要経費の平準化
大規模災害や感染症への対応	○災害時における業務継続機能の確保 ・ 災害拠点病院として、南海トラフ地震などの大規模災害発生時の業務継続機能の確保 ○感染症拡大時における診療機能の維持 ・ 感染症拡大時において、診療機能を維持するために有用又は補完できる機能
その他	○地域連携、地域貢献（行政、地域社会、地元企業等との連携） ○長期的に活用できるインフラ、かつ変遷するニーズへ適合できるフレキシビリティ

3. 整備するキャンパスの概況

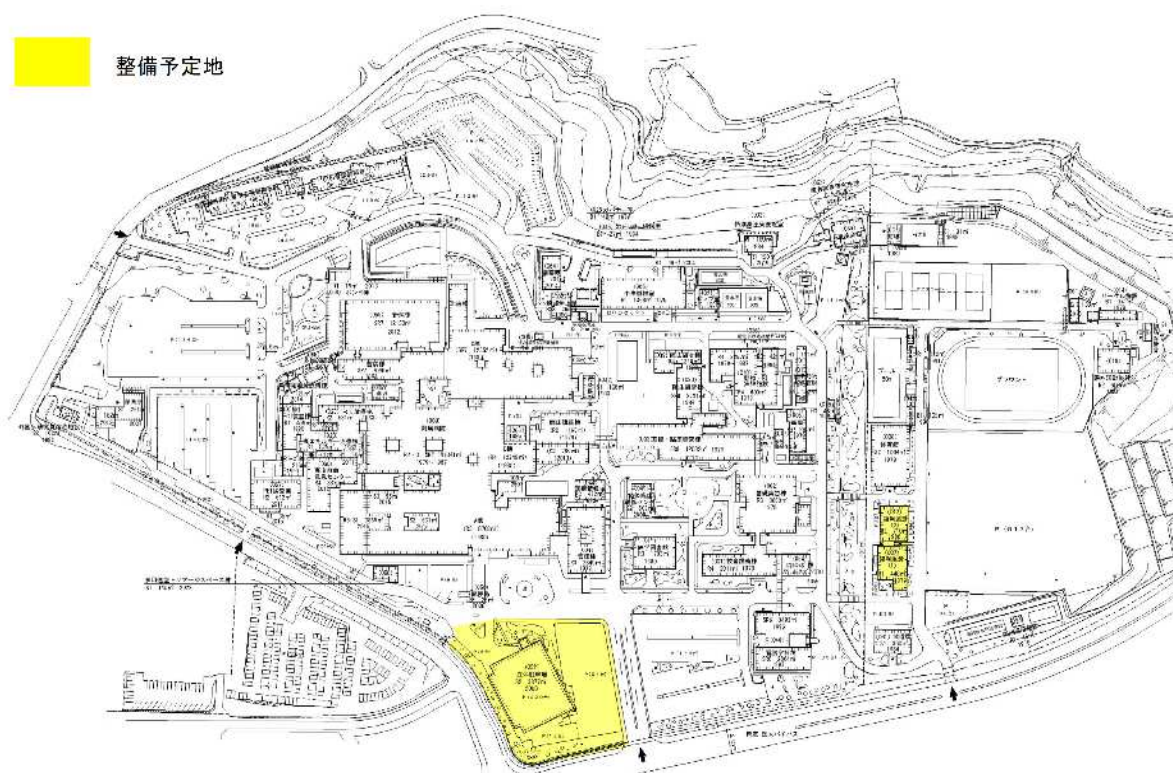
病院ゾーンの外構及び教職員・学生駐車場の一部を活用する。(参照：図1、図2)

所在地	大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 ※由布市と大分市にまたがっている
都市計画区域	都市計画区域内 由布市：市街化区域／大分市：市街化調整区域
防火地域	指定なし
用途地域	由布市：第一種住居地域／大分市：－
敷地高低差	約5m(103.5～98.5m)
地層	ローム質粘土、火山灰
容積率／建蔽率	200％／60％
接道道路	県道大分挾間バイパス線、県道小挾間大分線

(図1)



(図2)



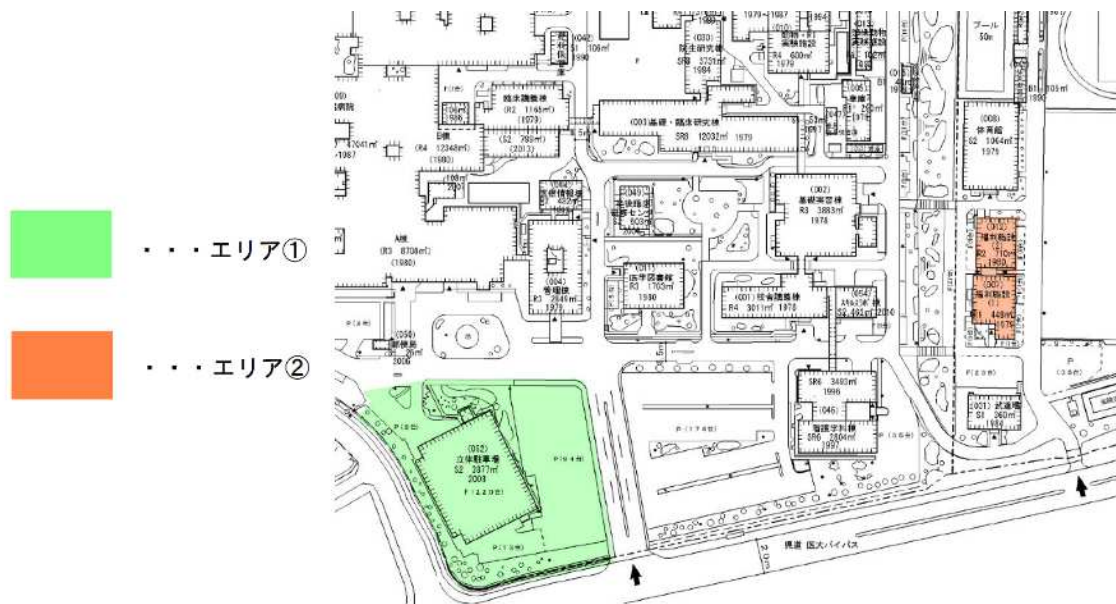
4. 整備用地の設定

整備用地の設定に関して配慮すべき事項は以下のとおりである。（参照：図3）

観 点	配慮すべき事項	想定用地
交通アクセス	<ul style="list-style-type: none"> 患者、教職員、学生等、それぞれの構外から駐車場への安全かつ円滑なアクセスに配慮 患者等の駐車場から附属病院内までの安全なアクセスに配慮 	エリア①
患者アメニティ	<ul style="list-style-type: none"> 構内各出入口、患者用駐車場、乗降場所、バス停、附属病院正面玄関の良好な位置関係 ロータリー、駐車場ゲート、乗降場所、身障者駐車場の適切な配置 外来患者が診療前後に必要なアメニティ施設の検討 	エリア①
福 利 厚 生	<ul style="list-style-type: none"> 病院と学部の教職員等が互いに利用しやすい立地 主に患者等が利用する施設との位置関係の配慮 	エリア① エリア②
災 害、感 染 症	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害や感染症拡大時のトリアージエリア等として活用 	エリア①
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や病院利用者以外の者が利用できる施設を整備する場合は、交通渋滞を招いたり患者や教職員等のアクセスを阻害しない様に配慮 	エリア①

※想定用地については、現状考えられる範囲での想定あり、事業者からの異なる提案を拒むものではない。

(図3)

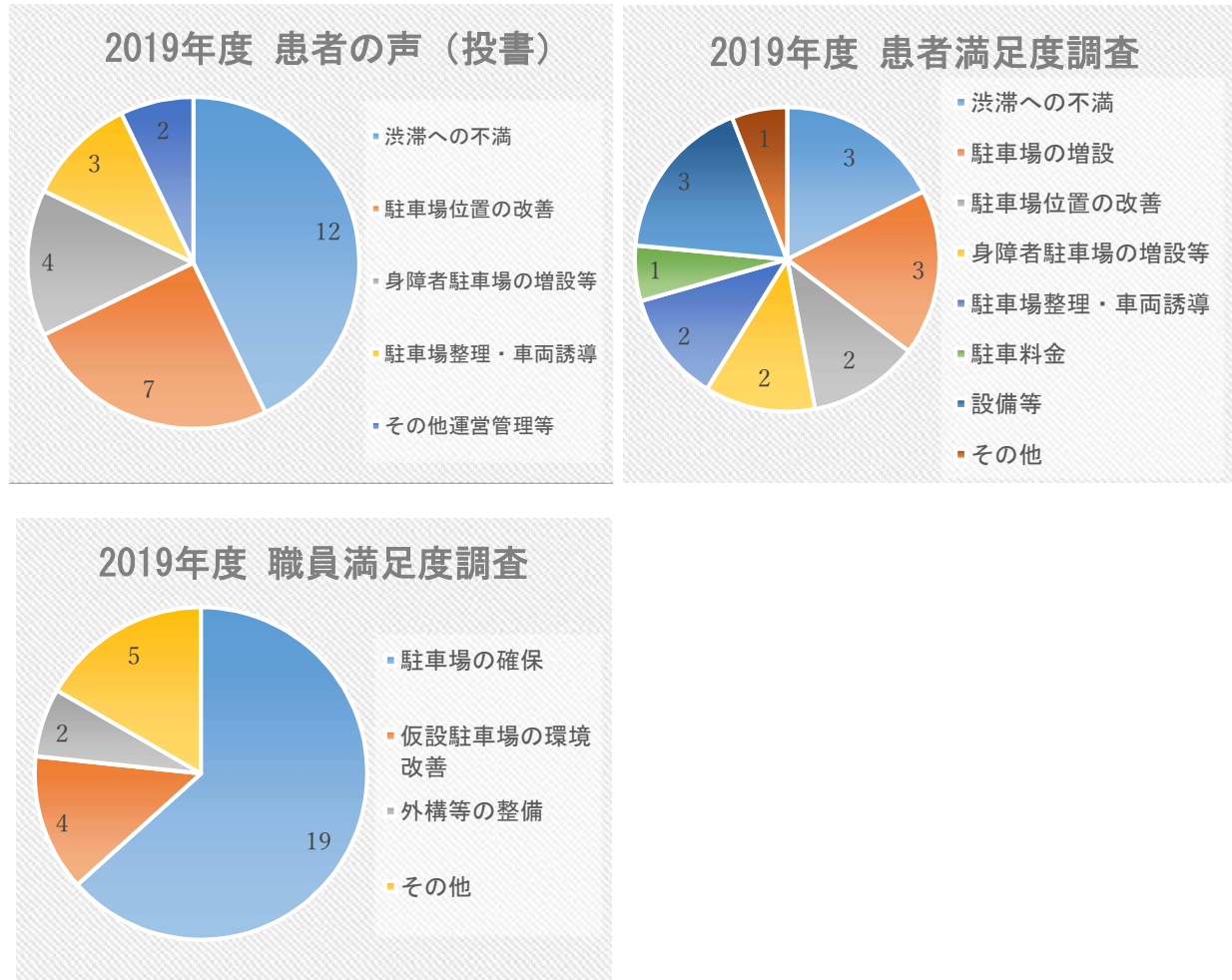


5. 必要とする機能の検討

(1) 需要ニーズ

駐車場及びアメニティ施設等に関する苦情や要望等からサービスの需要を検討する。

【患者及び職員からの駐車場に関する苦情や要望の件数】



【患者からのアメニティ施設等に関する要望】

- ・病院内にレンタルショップを作ってほしい。
- ・入院患者用のトレーニングジムがあるとなお良い。
- ・施設については日光浴する場所が不足、又は無い事。（散歩も患者には必要）
- ・銀行のATMをもう一台増やして欲しい。
- ・別銀行の機械を置いて欲しい。
- ・コンビニが遠すぎる。

(2) 必要とする機能、施設等の検討

整備のポイント、需要ニーズ等から、必要とする機能、施設等を検討する。

No	機能	利用者	現状	留意事項等	需要
1	駐車場	A・B・C	外構	・患者・見舞客等の外来者用、教職員・学生用として、500台程度不足、電気自動車の充電設備	必須
2	コンビニエンスストア	A・B・C	中診2F	・外来患者には現在の設置場所は不便	
3	売店	A・B・C	中診2F	・入院患者等が必要な衛生材料やアメニティ用品等の販売	
4	レストラン・食堂	A・B・C	中診2F	・患者ゾーン、職員ゾーンに区分 ・別途学生用の食堂あり	
5	コーヒーショップ・軽食コーナー	A・B・C	外来1F	・院内スペースの有効活用の観点から、外構への移転について検討の余地あり	
6	ファーストフード・パン屋	A・B・C	なし		
7	簡易郵便局	A	玄関前	・患者の利便性の観点から、院内への移転について検討の余地あり	
8	書籍・文具店	A・B・C	なし	・売店、コンビニの中で販売	
9	金融ATM	A・B・C	中診2F	・銀行1台及びコンビニ内1台 ・外来患者には現在の設置場所は不便 ・キャンパス前の支店が廃止	高
10	理・美容室	A	中診1F	・長期入院患者用、ウィッグ販売	低
11	コインランドリー	A	各病棟	・長期入院患者用	低
12	クリーニングサービス	A・B	なし	・利用ニーズ低	低
13	トレーニングジム	B	なし		
14	コピー・スキャナサービス	B・C	なし	・コンビニで対応	
15	患者図書室	A	中診2F	・院内に設置しているが狭隘	低
16	休憩所	A	外来2F	・外来棟にラウンジ設置 ・コンビニ横にイートインスペース設置	
17	委託業者等控室・更衣室	B	なし	・契約上、設置が必要であるが不十分な状況 ・近年、外注業者等が急増	
18	講堂・会議室	B・C	なし		
19	地域交流スペース	B	なし		

※利用者の区分（A：患者等病院利用者、B：教職員等、C：学生）

6. 整備対象キャンパスの概要

①患者数等（令和4年度実績）

種 別	実績数等
許可病床数	618床
1日平均入院患者数	479人
1日平均外来患者数	1,055人

②教職員数（令和5年5月1日現在）※外注業者は含まず

種 別	医学部	病院	その他	計
教員、医師、研修医	211	378	0	589
看護師、保健師	0	742	3	745
薬剤師	0	39	0	39
医療技術系職員等	2	155	19	176
事務系職員	83	65	176	324
合計	296	1,379	198	1,873

③学生数（令和5年5月1日現在）

種 別	人 数
医学科生	640
看護学科生	255
先進医療科学科	35
大学院生	142
合 計	1,047

7. スケジュール

事 項		日 程
サウンディング	サウンディング実施要領の公表	令和5年 9月 5日
	現地見学会・説明会の申込期限	令和5年 9月15日
	現地見学会・説明会開催	令和5年 9月25日～10月6日
	サウンディングの申込期限	令和5年10月13日
	提案資料等の提出期限	令和5年11月 2日
	サウンディング実施	令和5年11月13日～24日
	サウンディング実施結果の公表	令和5年12月 1日以降